

# カトリック河原町教会だより

2012年8月

## 京都南部地区 合同堅信式

京都南部地区合同堅信式が5月27日(聖霊降臨の主日)午後2時から河原町教会で、大塚喜直司教の司式により行われ、58名の方が堅信の秘跡を授かりました。河原町教会の受堅者は19名で、中学生14名、成人5名でした。堅信式終了後、地下のヴィリオンホールで司教様、神父様とともにお祝いの会が催されました。



堅信の秘跡の授手



受堅者と代父母の皆さん

### お知らせ

#### 河原町教会 平和旬間行事

8月12日(日) 10時半ミサ後  
河原町教会 ヴィリオンホール

- ◆ 救援ボランティア活動報告  
聖ドミニコ女子修道会 シスター
- ◆ 被災地に赴任して  
森田 直樹 神父  
(岩手県大船渡教会主任代行)

## 聖母の被昇天

8月15日は聖母の被昇天の祭日です。年間の聖母の祝日の中でも、12月8日の「無原罪の聖マリア」、1月1日の「神の母聖マリア」の祭日とともに、特に祝われる祭日が「聖母の被昇天」です。1950年にピオ12世教皇は、「聖母マリアが生涯の終わりに肉体も靈魂もともに天にあげられた」と教義として宣言されました。

マリアは天使のお告げを受け、貧しい者でしかない自分に注がれる神の恵みの業をたたえます。その時、マリアは恵みを受けた自分自身に目を向けるのではなく、その感嘆すべき業を行われる神ご自身へと向かっていきます。神が救いの計画を始められる前に、貧しいひとりの乙女にすぎない自分の承諾を求めておられることのうちに、マリアは神の無限のへりくだりを見たのです。そのような神



に対する感謝と賛美が、マリアを限りなく謙虚な者にしていきます。マリアは、自分の全存在、心も体も魂も余すところなくすべて神へと向かっていました。何事においても自分にとらわれ、こだわるという原罪、罪の汚れからまったく解放されておられたのです。マリアの神に向かう純一性こそが、無原罪の恵みです。それゆえに、マリアは罪の結果としての死を経験することがなかったのです。これが聖母の被昇天です。

マリアは、キリストの死と復活によってあがなわれる人類の初穂として、無原罪の恵み、その結果である被昇天の恵みを、救いの先取りとして受けられました。これらの恵みは、神の子らであるわたしたちに与えられる恵み、救いでもあります。母であるマリアの姿は、わたしたちの未来の姿であり、希望です。わたしたちが自分自身に向かうのではなく、神にのみ向かうという、神の子本来の恵みに生きられるよう、マリアに取り次ぎを祈りましょう。

## マリア様を通してイエス様へ レジオ・マリエ「都の聖母」

### プレジディウム(集会)



レジオ・マリエは、マリア様の手足となって、その望みどおり、イエス様のため、教会のために自分の余暇を使って働くというグループです。

レジオ・マリエは1921年にアイルランドのダブリンで生まれ、今では全世界160か国以上に広まっています。

日本では、第2次世界大戦後まもなく始められ、河原町教会では1950年から始まりました。レジオ・マリエ「都の聖母」プレジディウムは1973年1月17日に始まり、現在は花井拓夫神父様のご指導のもと、13名の会員が、祈りを大切に、福音宣教を目的とする奉仕活動を行っています。また、28名の賛助会員が祈りで活動を支えてくださっています。

レジオ・マリエ「都の聖母」プレジディウムは、毎週決まった日に集まり、決められた祈りをし、ロザリオを唱え、前の週に決められた仕事を各メンバーがどのように実行したかを報告します。そしてマグニフィカトを唱え、神父様の説教を聞き、次の週の仕事を決め、祈りで終わります。指導司祭に従順であること、仕事に当たってお金や贈り物の授受をしないこと、グループの費用は集まったときの秘密献金でまかなうこと等が、会の特長です。

会員一人ひとりの具体的な活動は、教区と小教区の祭服仕立・修理、聖堂掃除、「聖ヨゼフ整枝園」「希望の家」「のぞみの園」でのボランティア活動、教会行事・教会受付・聖書講座の準備・教会だより編集等の手伝い、ミサ後のお茶サービスや訪問者の接待等です。カナでの婚礼で、マリア様が「この



人の言うとおりにしなさい」(ヨハネ2:5参照)と言われたように、イエス様のお望み通りに、神様のみ旨に従順であるように、「マリア様を通してイエス様へ」をモットーに日々の活動を、感謝しながら続けています。

姉妹教区である済州教区のレジオ・マリエは非常に活発で、プレジディウムが405もあり、新済州市東光教会には32もありです。現在、京都教区には7つのプレジディウムがあります。レジオ・マリエ「都の聖母」は毎週金曜日午前11時から、場所は3階の304号室で、また、河原町教会のもう一つの「雪のマリア」は毎週水曜日午後7時から集会をしています。関心をお持ちの方は、一度、集会を訪ねてください。どなたでも大歓迎です。会員一同お待ちしております。(文責 岩間 恵世)

### 河原町教会 探索

## 「都の聖母」像



1847年、フランス東部の小村の主任司祭レオン・ロバンは日本における壮絶な殉教史を知り、「日本の改宗を祈る会」の活動を開始しました。その呼びかけはフランス全土に広がり、大きな動きとなりました。師は都に教会を建てたいというザビエルの願いを

かなえようと、ブロンズの聖母像をつくりました。その像は教皇ピオ9世の祝福を受け、「都の聖母」と命名されました。それは京都が見下ろせる丘に埋めるよう、パリ外国宣教会に託され、禁教令下の1873年ヴィグレー神父によって東山將軍塚に埋められました。禁教令がとかれた後、京都に赴任されたヴィリオン神父によって1879年に掘り出され、以来、河原町教会で大切に保管されてきました。現在は河原町教会地下の小聖堂「都の聖母」に安置されています。大海原を越え、日本での宣教を願って送られてきた「都の聖母」像です。

#### 四、二〇一二年度上半期決算

- ① 維持費・ミサ献金がやや減少している
- ② 前庭・南門改修工事で、二百万円余り出費した
- ③ 未納者、滞納者への呼びかけを続ける。信者名簿の整備が必要

#### 五、規約委員会

- ① 任意団体の整備等、規約の作成が必要
- ② 新委員の選定を急ぐ

#### 六、部会報告

- ① 典礼部  
七月一日十時半ミサの司式で溝部司教様をお願いしたが、ご紹介が必要だった
- ② 広報部  
教会案内英語版の進行状況を確認する
- ③ 教育部  
・土曜夜、日曜早朝ミサのオルガン奏者の体制づくりを進める  
・土曜学校錬成会準備中  
・広島巡礼九名参加予定  
・済州教区体験学習に二名参加予定
- ④ 施設管理部  
・前庭・南門改修工事が終了した  
・前庭にベンチ二台を購入した

## 京都マック

アルコール・薬物・ギャンブル・摂食障害・買い物依存症等のリハビリセンター

京都マックは、アルコール・薬物・ギャンブル・摂食障害・買い物依存などの依存症からの回復を願っている方々が癒され、新しい生き方を身につけるためのリハビリセンターです。

マックは英語のMulti(多くの・各種の)、Addiction(依存症)、Center(センター)の頭文字からなる名称です。マックの施設は全国16か所(東京みのわMAC他)にあります。

京都マックは1990年の開設以来、約20年間衣笠教会内にありましたが、2011年4月に下京区へ移転しました。

副施設長の辻井秀治さんにお話を伺いました。



スタッフのみなさん  
榎原施設長(左)、辻井副施設長(中央)

### ■依存症は回復できる病気です

アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症は必ず回復できる病気です。「早期発見」と「早期治療」が回復への近道です。病気の悪循環から解放されるために大切なことは、病気についての正しい知識を持ち、依存しないで生きるための適切な方法を身につけることです。この病気からの回復には、回復したいと願っている仲間との出会いが必要です。

### ■グループセラピー

マックではグループセラピー(ミーティング)を中心にプログラムを組んでいます。お酒を飲める自由の中で飲まないことが回復への第一歩です。マックには酒や薬のない「今日一日」があります。

ミーティングを中心としたプログラムでは、自分自身と人とのつながりを考えます。そして、定期的に通所することで健康的な生活習慣を取り戻せます。そのことが社会参加するための準備につながっていきます。

### ■京都マックには

京都マックには1日に平均20人ぐらいの方が通っています。女性が4割ほどです。スタッフは6人、ボランティアが4人います。

### ■回復のための12のステップ

マックが実践している回復プログラムには、12のステップがあります。

**ステップ1:**自分自身がアルコール・薬物などに対して無力であり、そのために生きていくことがどうにもならなくなっていること、依存症が病気であり、自分は依存症者であることを認める。

**ステップ2:**自分を越えた偉大な力(ハイヤーパワー)が自分を正気に戻してくれる、必ず依存症から回復することができると思える。

**ステップ3:**ハイヤーパワーに委ねる。

**ステップ4:**あったこと、自分がしてしまったことを振り返って、淡々と話す。(これを「棚卸しをする」と言います。)

**ステップ5:**ハイヤーパワーまたは信頼する他者に話をする。話をすることで

平安が訪れる。

ステップ5が終わったら、就職活動を始めます。主婦の場合は主婦業に戻ります。ここまで半年から1年、長い人で2年ぐらいかかります。



社会復帰後は、AAなど、自助グループの夜のミーティングに参加することもできます。この12ステップは数年ごとに繰り返して行うと効果的です。

### ■マックと教会の関係は・・・

マックはもともとアメリカで生まれたものです。日本では「神」という言葉はできるだけ使わないようにして、ハイヤーパワーと言い換えています。マックで神に出会って、洗礼を受けた人も何人かいます。

教会とのつながりもあります。バザーに参加したり、白や杵を持って餅つきに行ったりしています。

### NPO 法人 京都マック

理事長 花井 拓夫  
京都市下京区大宮通七条上る大宮  
3-18 かつらぎ平安ガスセンター3F  
電話:075-741-7125

E-mail:k-mac3634@flute.ocn.ne.jp

### 開所時間

月～土曜日 9:00～17:00  
日曜日 14:30～17:00

### 河原町教会七月評議会報告

#### ▼司祭団より

- ①河原町教会の現状と解決すべき問題点について問題提起がなされ、今後評議会でも検討する。
- ②日曜日十時半ミサの担当司祭を聖堂後方に掲示する。

#### ▼部会報告

**典礼部** 日曜日の受付の業務時間は午後一時～三時でボランティアを募集。応募がない場合は有償のパートタイムを募集採用する。それに伴いガードマンのシフトを繰り上げる。

**財務部** ①今年度上半期の財務状況報告。昨年に比べ増えた支出は祭服費、オルガン調律費、聖堂空調メンテナンス費等。②営繕献金は増加。③維持費、ミサ献金はやや減少している。

**施設管理部** ①教会美化デーは多くの方の協力を得て実施。部員による地下各部屋のエココンフィルターの掃除完了。②教会財産管理データベース作成は未着手。③新献金箱は安定性、保守性を見直した上で発注する。

**広報部** 六月三十日に部会開催し、新しい部会規約を検討した。次回部会でまとめ、評議会に提出する。

**教育部** ①土曜学校錬成会はアレンジのフリンジスコとローマ教皇をテーマに勉強する。小学生二十名が参加予定。②中高生をコーヒーショップ売り上げ代金一万三千元を東日本大震災復興支援に寄付。③中学生広島巡礼に六名参加予定。

## ●2013年8月～10月の行事予定●

(9月、10月は予定です。変更の場合もあります。)

祝・記念日		行 事 予 定	
8/4	日	比叡山宗教サミット26周年「世界平和の祈りの集い」 済州教区神学生(2名)との交流会 10時半ミサ後	評議会8月例会
8/5	月	～7日(水)	教区中学生広島平和巡礼
8/8	木	～10日(土)	土曜学校錬成会
8/11	日	平和旬間行事 映画観賞会「わすれないふくしま」	11時半 ヴィリオンホール
8/15	木	聖母の被昇天	聖母の被昇天ミサ 7時 10時半
8/16	金		諸死者追悼ミサ 午後6時
8/25	日		田中司教様霊名のお祝い 10時半ミサ
8/31	土		教会学校研修会
9/1	日		評議会9月例会
9/15	日		敬老感謝ミサ 10時半 ミサ後懇親会
9/16	月	チャリティーコンサート 午後2時開演	カトリック河原町教会
9/22	日		大日山墓地清掃
9/29	日		教会美化デー
10/6	日	ロザリオの祈り 10月中の毎日	10時 評議会10月例会
10/7	月	～11日(金)	教区司祭黙想会
10/13	日		衣笠墓苑清掃(2回目)

## お知らせ

## □修築特別献金 6月末現在 4,922,492円

エレベーター設置、会館配水管工事の修築特別献金が目標額2,000万円の4分の1に達しました。ご協力ありがとうございました。振込用紙を用意しました。聖堂入り口の机、受付、3F事務室にあります。引き続きご協力よろしくお願ひします。

エレベーター設置工事は8月10日ごろに、また、配水管工事は8月3日ごろに完了する予定です。

東日本大震災復興支援と  
ユスト高山右近列福祈念

## チャリティーコンサート

2013年9月16日(月曜日 敬老の日)

午後2時開演 (1時半開場)

京都カトリック河原町教会聖堂

入場券:1,000円 (全席自由)

京都カトリック混声合唱団 指揮 遠藤政樹

(京都カトリック混声合唱団については2頁に紹介)

## 河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)	7:00	
	10:30	
	12:00 (英語)	
月曜日	6:30	
火曜日	6:30	18:30
水曜日	6:30	18:30
木曜日	6:30	
金曜日	6:30	18:30
土曜日	6:30	
	18:30 (主日のミサ)	

## 信仰の学び

どなたでも自由に、途中からでも参加できます。直接会場にお越しください。

## ◆信仰入門講座◆

(1F 集会室または3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)

19:15 一場修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)

19:00 花井拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)

金曜日 15:00 シスター藤田智子 (3F)

19:15 村上透磨神父 (1F)

◇鶴山進栄神父の個人講座がスタートしています。ご希望の方は教会事務室にご相談ください。

## ◆信徒養成講座◆

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

※8月の講座はありません

9月5日(木) 14:00

10月3日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

## ◆聖書通読会◆

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。(主催:教育部)